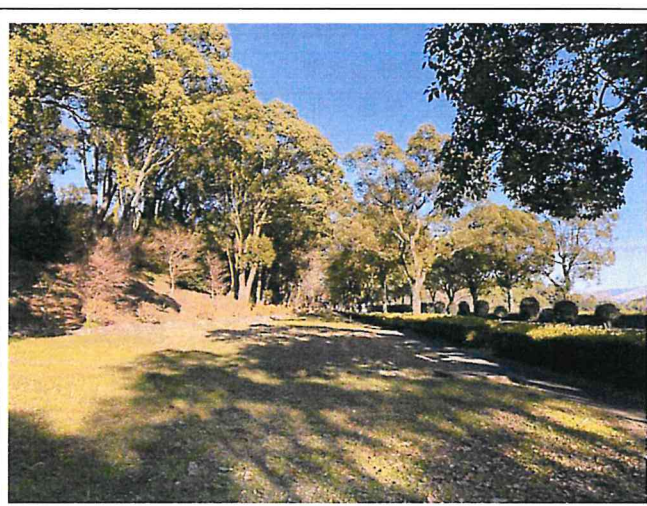




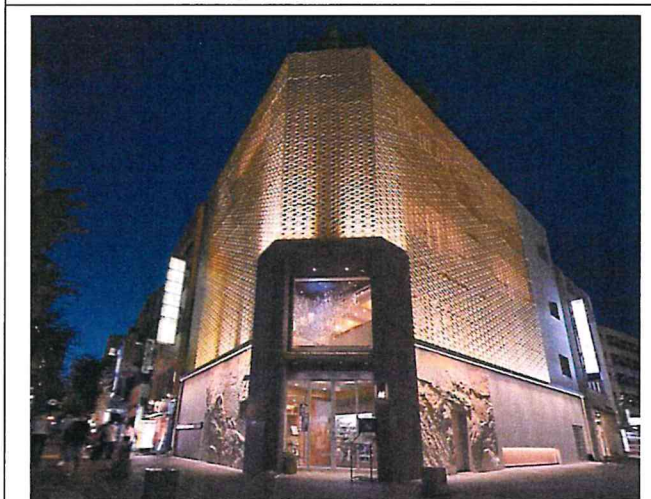
# 令和5年度（2023年度）第35回 くまもと景観賞 募集



第34回 部門賞 地域景観賞 「醤油蔵」  
(熊本市西区小島 浜田醤油株式会社)



第34回 部門賞 緑と水の景観賞  
「再春館ヒルトップ 第二空港線（県道36号）沿い法面緑化」



第34回 奨励賞  
「『自然・伝統との共生』郷土料理 青柳」



第34回 特別賞  
「通潤橋」

募集期間:令和5年7月13日(木)~8月25日(金)

応募はこちらから

URL→[https://apply.e-tumo.jp/pref-kumamoto-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=11697](https://apply.e-tumo.jp/pref-kumamoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=11697)

二次元バーコード→



詳しくは、県のホームページをご覧ください。

くまもと景観賞

検索

過去の受賞作品はこちらからご覧になれます。

→[http://kumamoto-midori.com/shokai/shokai\\_keikan2.html](http://kumamoto-midori.com/shokai/shokai_keikan2.html)

# 第35回くまもと景観賞

景観は眼にうつる環境とも言われています。緑にあふれ、地域の文化や伝統を感じさせる美しい街並み景観や田園景観は訪れる人の共感を誘うとともに、そこに住む人にも我が町・ふるさとへの愛着をますます高めます。

“くまもと景観賞”は、私たちの郷土＝熊本が緑と潤いに満ちた美しい県土となるよう、良好な景観形成に大きく貢献している人々の功績を広く顕彰することを目的としています。

## 募集要項

### 1 表彰の対象

熊本県内において、次に掲げる景観形成に係る取組みで、地域の良好な景観形成に大きく貢献している個人若しくは団体を表彰します。

- ①地域の歴史、生活文化、自然などを活用した景観
- ②地域住民、企業、行政それぞれの参加と協力で創出された景観
- ③地域に潤いと安らぎを与える景観
- ④地域に新たな魅力をもたらす景観
- ⑤その他優れた景観形成に寄与しているもの

※応募内容が関係法令等に違反しているもの、その他表彰にふさわしくない事項等と認められるものについては、選考対象外とします。また、表彰決定後に表彰にふさわしくない事項等があったことが判明したときは当該決定を取り消す場合があります。

### 2 応募資格

自薦、他薦は問いません。（他薦の場合、被推薦者の承認を得たうえで応募してください。）



スマートフォンは  
こちらから↑

### 3 応募方法

「熊本県電子申請サービス」で必要事項を入力し、画像データ添付のうえ、お申し込みください。

※「熊本県電子申請サービス」と検索し、手続き名「令和5年度（2023年度）第35回くまもと景観賞 作品応募・推薦」を選択してください。

※電子申請が困難な場合は書類でも受け付けていますので、詳細については熊本県都市計画課までお問い合わせください。

なお、応募いただいた書類の返却は行いませんので、あらかじめご了承ください。

### 4 募集期間

令和5年（2023年）7月13日（木）～8月25日（金）

### 5 選考方法

くまもと景観賞審査委員会を設け審査します。

一次審査 書類審査

二次審査 現地審査

#### ■審査委員長

吉村 尚子 株式会社 風土&フードデザインYOSHIMURA 代表取締役／プランナー

#### ■審査委員

伊東 龍一 熊本大学名誉教授

太田 リカ 空間デザイナー・グラフィックデザイナー

金子 好雄 熊本県文化懇話会会員、NPO法人白川流域リバーネットワーク 代表理事

星野 裕司 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 教授

丸山 幸 株式会社 大揮環境計画事務所 代表取締役

### 6 発表・表彰

表彰式は、令和6年（2024年）2月頃を予定しております。

※応募された方には、12月末までに結果を通知いたします。

## —第34回くまもと景観賞受賞作品—



### 部門賞 地域景観賞 「醤油蔵」

小島地区の醤油蔵に代表される醸造所は、地域生活に不可分な存在として歴史と伝統と文化を育ててきたが、移ろう時代と熊本地震からの復興を契機とし、これらの継承とリノベーションとが融合した作品となっている。

### 部門賞 緑と水の景観賞

### 「再春館ヒルトップ 第二空港線（県道36号）沿い 法面緑化」

県道熊本益城町大津線（通称：第二空港線）の一部に、（公財）再春館「一本の木」財団と熊本県の官民連携によって生み出された、四季の移ろいを楽しめるおもてなしの道路景観がある。郷土を想う心と、長い歳月におよぶボランティア活動に感銘を受ける空間である。

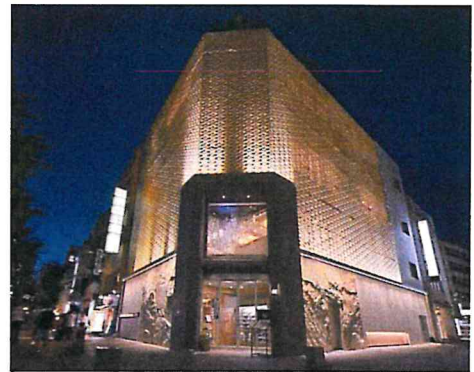


### 奨励賞 「MINI 熊本ショールーム」

光の森にある「MINI 熊本」のショールームは、地域特性と景観を尊重し、本来定められているというブランドのCIルールを一部変更。近隣住民との交流や、景観に配慮する姿勢とチャレンジが評価された。

### 奨励賞 「『自然・伝統との共生』 郷土料理 青柳」

熊本地震からの再建。角地という敷地の特性を活かし、狭い街路沿いに雑居ビルが立ち並ぶ繁華街にあって、周辺の雰囲気向上させると同時に、夜には明かりによって安心感も高める、街のすぐれたランドマークである。



### 奨励賞 「宗教法人真宗大谷派皆乗寺 本堂および山門」

平成28年熊本地震で全壊判定を受けるが文化財としての価値を見出され、平成30年、益城町の重要文化財指定となる。当時の地域特有の目板棧瓦（めいたさんがわら）を現代の技術で丁寧に復元しており、このような取組みが評価される。

### 特別賞 「通潤橋」

景観に対する町役場職員の深い理解、地域住民の無私の協力など、多くの努力によって、幾多の災害や社会情勢の変化を乗り越え、一つの文化財の保存に止まらず、それを含んだ周辺の景観全体が、適切に保全されている。



くまもと景観賞は、グランプリである「くまもと景観賞」をはじめ、次の賞を設けています。審査にあたっては、個々の景観だけでなく、地域景観づくりの活動も評価します。

## ■くまもと景観賞

県土の景観形成に顕著な功績のあるものに贈られます。

## ■部門賞

### 【地域景観賞】

地域の景観形成に功績のあるものに贈られます。

（個々の建築物、向こう三軒両隣といった小さな単位から、まちづくり等の大きな単位まで優れた景観形成や地域づくりに寄与しているもの。）

### 【緑と水の景観賞】

緑と水の景観形成に功績のあるものに贈られます。

（住民・企業・行政の協働による緑化活動、私有地の公共空間化により創出された、ゆとりある景観等で、継続的な維持管理によって良好に保たれているもの。）

### 【広告景観賞】

広告景観の向上に功績のあるもの（広告・サイン・案内板等）に贈られます。

（広告単体の造形美や、統一的なデザインの看板の設置等によって、優れた景観形成に寄与しているもの。）

## ■奨励賞

景観の形成や向上に貢献しているものに贈られます。

## ■特別賞

過去の受賞作品を含めて、長年にわたり良好な景観の維持・向上が図られ、県土の景観形成に特に顕著な功績があるものなど、審査委員の推薦で、特別賞を贈る場合があります。

【主催】 熊本県

【後援】 (公社) 熊本県建築士会、(一社) 熊本県建設業協会、(一社) 熊本県建築士事務所協会、(公社) 熊本県緑化推進委員会、(一社) 熊本県造園建設業協会、熊本県樹芸農業協同組合、熊本県花き園芸農業協同組合、熊本県広告美術協同組合、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送、エフエム熊本、くまもと緑・景観協働機構

### 問い合わせ先

熊本県土木部道路都市局 都市計画課景観管理班  
〒862-8570 熊本市中央区水前寺六丁目 18-1  
TEL : 096-333-2522 FAX : 096-387-1152